

*

この講演の翻訳を本誌に掲載することについては、訳者はホブズボームの許可をえてある。彼は、帰英後、このペーパーに加筆したものを送ってくれると約束したが、二年を経過した現在、この約束はまだ実現していない。あまり間をおくのはどうかと思われるので、取りあえず、当日のペーパーによって訳出した。後日、約束が実現した場合、大きな修正があれば、その部分について、「補遺」をのせるつもりである。

なお、ペーパーは三節に分けたが、このうち3のみがホブズボームによってⅢと明記されているだけで、1と2はあいまいである。訳者の推定を加えて、1と2を分けたが、2節の異常な長さが、訳者としては、気になっている。

元来が講演なので、訳文は論文体でなく、話文体とした。ただし、—や()を用いた原文部分については、どうしても話し言葉として連らならない箇所が二、三生じた。

マルクスからの引用文については、ホブズボームの使用した英訳の文章から直接日本語に移した。つまり、ドイツ語原文にもどって邦訳し、あるいはそれからの邦訳書を使用するという、通常の方法を意識的にとらなかった。ドイツ語に堪能なホブズボームは、英訳による引用文に、ところどころドイツ語を挿入しており、訳者もまたドイツ語原文を参照したのはもちろんだが、あえて英訳引用文の直接邦訳を試みた。英語使用国の人のマルクス理解を伝えるには、その方が正道だと判断したからである。

(1975. 11. 30記)

〔 所 報 〕

○ 1975年度夏季合宿研究会 7月30日(水)―31日(木) 箱根湯本豊栄荘 参加者23名
報告 1. イギリス労使関係法の現状と問題点 前田政宏所員 2. 自治体による生鮮食品の価格安定事業の評価 中村秀一郎所員 3. 「横浜事件」 平館利雄所員(この研究会には「月報」寄稿者の商学部・大西洋三氏の参加を得た)。

○ 第3回運営委員会・事務局合同会議 1975年9月19日(金) 午後1時～4時 神田校舎会議室12A 出席者11名 議題 1. 75年度後半期計画について 2. 事務局人事について 3. 生田社研の移転について 4. その他

○ 第4回運営委員会・事務局合同会議 1975年10月23日(木) 午後1時～2時30分 生田校舎図書館5階集会室 出席者12名(書面回答2名) 議題 1. 定期刊行物に対する社研文献資料部の運営方針(案)について 2. 「年報」10号の編集日程について 3. 「月報」編集の年度内計画について 4. その他

○ 欧文誌の図書館への移管措置 第4回運営委員会・事務局合同会議の決定(議題 1. 定

定期刊行物に対する社研文献資料部の運営方針（案）について）を経て、専修大学図書館長鍋島達殿宛文書「社会科学研究所購入欧文誌の図書館への移管について（至急手配のお願い）」（昭和50年10月27日付専修大学社会科学研究所所長 大友福夫名）を提出、了解を得た。

○ 社研専任事務職員 杉本かほるさん退職、1975年10月31日付。かわって、平本政子さんに社研事務依頼（第4回運営委員会・事務局合同会議の承認を得て、10月27日から出勤 原則として、火～木曜日の午前12時から午後4時まで）。

○ 社研生田本部移転 11月8日（土）・9日（日）の両日にわたり、図書館5階から6号館1階へ（移転にあたっては、事務局員のほか、特に坂牧三郎、平川東亜、常行敏夫および沢野徹各所員の援助を得、また平本さんの特別出勤をお願いした。記して謝意を表したい）。

○ 第5回運営委員会・事務局合同会議 1975年12月6日（土）午前11時～午後2時 出席者12名 議事 I. 報告 1. 1975年度中間報告 2. その他 II. 議題 1. 社研運営（研究会・事務局）体制＝人事について 2. 「年報」発行に関する件 3. 76年度研究所活動計画案 4. 76年度要求予算案 5. その他

○ 月例研究会 1975年12月13日（土）午前10時30分～午後1時 神田校舎会議室8 B 参加者26名 報告 ドイツから帰って 玉垣良典所員

○ 第26回定例所員総会 1975年12月13日（土）午後1時～5時 神田校舎会議室12 A 出席者26名・委任状31通（所員78名） 議事 資格確認 所長挨拶・議長選出 I. 報告 1. 75年度中間報告 (1)一般, (2)各部, (3)財政 2. その他 II. 議題 1. 「年報」発行に関する件 2. 76年度研究所活動計画案 3. 76年度要求予算案 4. その他（例年の忘年会は、経済事情の悪化もあり、今年度はとりやめた）。

○ 第10回事務局会議（＝慰労会） 1975年12月19日（金）午後6時～9時（予定のところ11時に及んだ） 新宿新華月 出席9名 議題 1. 平本さんの勤務日程などの件 2. 専任事務職員後任の件 3. 「年報」10号の件 4. 「年報」発行に関する件 5. 運営委員会・事務局合同会議の日程の件 6. 平館先生送別会・実行委員の件 7. 3月合宿研究会の件 8. グループ研究などマニュアル追加修正の件 9. 事務局員、事務職員の業務関連の件 10. その他（これまでに行なわれた9回の事務局会議の月日は以下の通り。4月19日、5月6日、5月24日、6月21日、7月27日、8月28日、10月6日、10月29日、11月22日。概ね、運営委員会・事務局合同会議、定例所員総会に関連する会議である）。 （事務局・鍋島力也）

.....

<編集後記> E. J. ボズボーム教授の講演からすでにかなりの日時がたった。このように遅れたのは、吉沢所員の興味ある〔訳者あとがき〕に記されているように、講演の本月報掲載にあたって同教授との間で一つの約束があったことにもよるが、それにしても翻訳原稿をいただいた後、出版の遅れたことは全く編集部の責任である。吉沢所員にお詫びしたい。(H)

神奈川県川崎市多摩区生田 4764

専修大学社会科学研究所

電話 (044) 911-8480 (内線 33)

(発行者) 大友 福 夫